

# 環境マネジメント

## 基本的な考え方

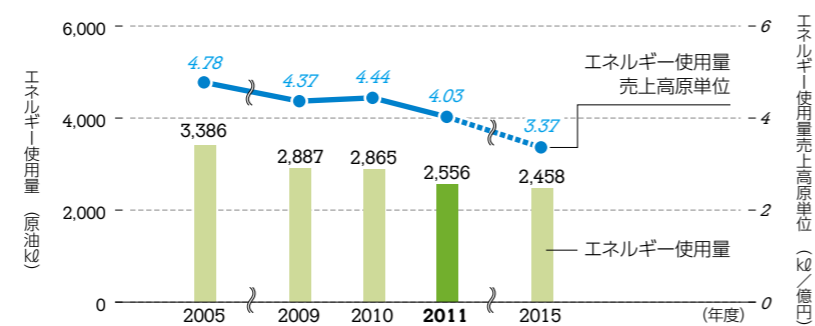
理想科学は、環境管理の組織、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して継続的な活動に取り組んでいます。

## 2015年度 全社環境目的(中期目標)

### エネルギー使用量(原油換算)の削減(2005年度比)

- 国内全体(理想科学単体のみ)で
- エネルギー使用量を23%削減する
  - エネルギー使用量売上高原単位を30%改善する

### 全社(国内)エネルギー使用量および売上高原単位の推移

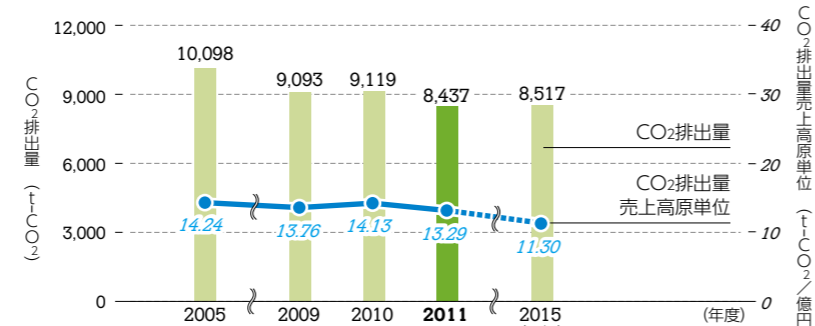


集計範囲: 理想科学単体国内全事業所のエネルギー使用量。(委託物流量、社有車燃料使用量は除く)。売上高は単体売上高。

### CO<sub>2</sub>排出量の削減(2005年度比)

- 国内全体で
- CO<sub>2</sub>排出量を15%削減する
  - CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位を20%改善する
- 国内生産事業所合計で
- CO<sub>2</sub>排出量を28%削減する
  - CO<sub>2</sub>排出量総製造原価原単位を30%改善する

### 全社(国内)CO<sub>2</sub>排出量および売上高原単位の推移



集計範囲: 国内全事業所のエネルギー使用量、社有車の燃料使用量、物流部所管の製品・サービスの物流委託量とそれらに伴うCO<sub>2</sub>排出量。売上高は単体売上高。

### CO<sub>2</sub>排出量削減およびエネルギー使用量削減

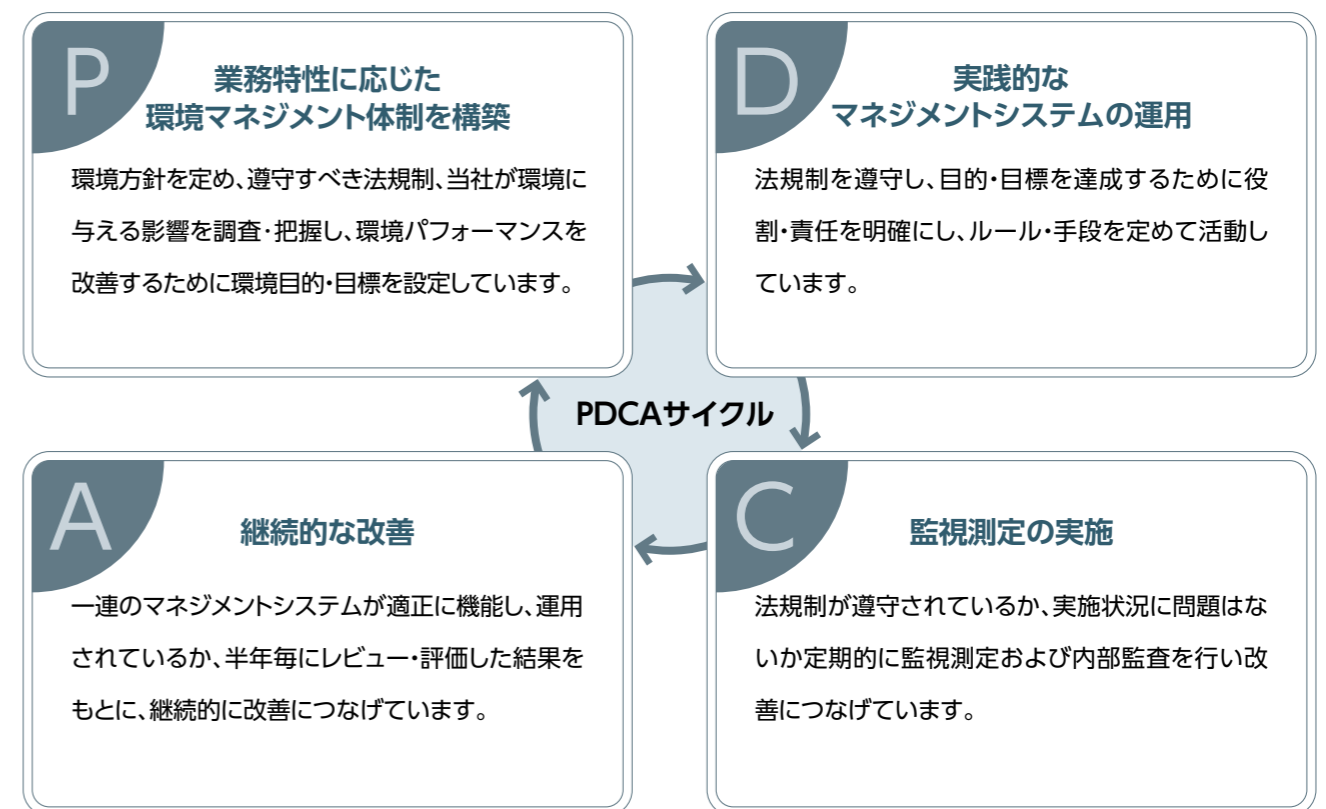
2011年度は、東日本大震災による電力供給逼迫に対応するため、省電力に重点をおいて空調機、冷凍機、照明などをエネルギー効率の高い設備へ更新するとともに屋根の遮熱塗装など積極的な投資を行いました(P.35 環境会計参照)。またクールビズはもとより、自然換気や緑のカーテンの推進、執務エリアの集中化など運用面でも省エネに努めました。

これらの結果、2011年度の全社のエネルギー使用量は2,556原油kℓとなり、前年より309kℓ減少しました。また、CO<sub>2</sub>排出量は8,437t-CO<sub>2</sub>で前年より682t-CO<sub>2</sub>減少しました。エネルギー使用量売上高原単位は4.03原油kℓ/億円前で前年より9%(0.41kℓ/億円)改善し、CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位は13.29t-CO<sub>2</sub>/億円で前年より6%(0.84t-CO<sub>2</sub>/億円)改善しました。

今後もさらに環境負荷の低減に向けて活動していきます。

## PDCAサイクルを回すことで継続的な改善を实践

当社は環境マネジメントシステムを構築し、PDCAサイクルを回すことで継続的に改善しています。



## 全社環境マネジメント体制

